

【ヒヤリ・ハット事例集】


平成25年3月に実施しました「産業廃棄物処理におけるヒヤリ・ハット事例」の調査結果をとりまとめたものです。

ご協力に感謝申し上げます。今後の業務の参考にさせていただきますようお願い致します。

【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.1
発生状況(何がどうした)		
<p>高速道路で前方車両のスピードが遅かったので、追い越し車線へ変更しようとしたら、後方から猛スピードの車両が車線変更を阻んだので、慌てて車線に戻した、追突されていたと思うとヒヤリとした。</p>		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
<p>サイドミラーを見ず、安全を確認していなかった。</p>	<p>高速道路走行の際、追い越しを掛けるときは、前方車両との確実な安全距離を確保して、追い越しする。</p>	
【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.2
発生状況(何がどうした)		
<p>ゴミ収集車の荷箱をダンプしたまま駐車しようとしたら、車庫上部へ衝突しそうになった。</p>		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
<p>車両の点検をした際、荷箱を上昇させていたのを忘れていた。</p>	<p>車を運転する際は必ず周囲と、状況の確認を行い乗車するように取り決めた。(指差確認活用)</p>	

【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.3
発生状況(何がどうした)		
<p>路駐していた車のドアが急に開き中から人が降りてきた。徐行運転ではあったが思わずヒヤッとした。</p>		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
<p>路駐していた車が、後方確認をしていなかった。</p>	<p>路駐している車を避けて走行する時は、十分間隔をとって注意しながら徐行運転をする。</p>	
【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.4
発生状況(何がどうした)		
<p>路肩の狭い集落を走行中、家の木戸口から車が突然出てきて、接触しそうになった。</p>		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
<p>徐行運転をしていたため、事故にはならなかった。</p>	<p>危険予知し徐行運転に努める。</p>	

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.5	
発生状況(何がどうした)	
前車が急ブレーキをかけ追突しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
車間距離を十分にとってなかった。	車間距離を十分にとり、周囲への注意を怠らない。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.6	
発生状況(何がどうした)	
片側1車線の道路を走行中、対向車が突然はみ出してきたため、正面衝突しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
対向車の運転操作ミス、または、脇見運転。	制限速度を守り、安全運転をする。また、不測の事態に対応できるよう運転する以外防ぎようがない。

【収集運搬】 運搬中 ヒヤリ・ハット No.9	
発生状況(何がどうした)	
路地から、大通りに出る時、横から自転車に乗った学生が突っ込んできた。	
	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
前方だけを見ていたので、歩道から走ってくる自転車に気づくのが遅れた為。	大通りに出る時は、前方と同じように、左右の確認も大事である事の認識を持ち運転する。

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.7	
発生状況(何がどうした)	
片側二車線の道路を走行中。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
前の車が急に右折した。	車間距離を十分にとっていた為、事故にはならなかった。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.8	
発生状況(何がどうした)	
トラックに荷台に産廃箱からの荷物が落下。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
産廃箱の落下防止ネットに隙間があった。	ネットを掛ける際は、箱と隙間が無いように確認をする。

【収集運搬】 収集作業 ヒヤリ・ハット No.10	
発生状況(何がどうした)	
引取りの作業中、はしごを使いトラックの荷台を滑らせ転落しそうになりひやりとした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
雨が降っており、はしごが濡れて滑りやすい状態であった為。	雨の日に、はしごを昇降するときはウエスではしごを拭いてから昇降する。また、踏む足を一步一步確認しながら昇降する。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.11	
発生状況(何がどうした)	
ホースを出し、収集作業を行う際、家の角に置いてある植木鉢を破損しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
周囲の確認不足。	周囲の確認を確実にし、状況と作業工程を読む。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.12

発生状況(何がどうした)

重機により積込作業中ダンプの物陰から突然作業員が飛び出してきて、重機と接触しそうになった。

発生原因(なぜ)

安全対策が不十分だった為。

再発防止対策(どうした)

カラーコーンを設置し、作業ヤードに囲いを設け、立入禁止看板を設置した。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.13

発生状況(何がどうした)

バックホーで道路切削ガラを積込む際、ゆるい下り坂であったが、ダンプが動きだしそうになった。

発生原因(なぜ)

車止めはかけていたが、タイヤに比べ小さかった。又、サイドブレーキのかけ方が甘かった。

再発防止対策(どうした)

大型ダンプ用の大型車止めの使用をサイドブレーキのみではなく、ギヤーを入れた状態で待機し積込む。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.14

発生状況(何がどうした)

ユニック車が傾き横転するところだった。



発生原因(なぜ)

アウトリガーが陥没した。

再発防止対策(どうした)

敷板等広めの板を使用する。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.15

発生状況(何がどうした)

荷下ろし場所に後進中、死角に障害物があり衝突してダンプを破損した。

発生原因(なぜ)

後方確認が不十分だった為。

再発防止対策(どうした)

後方確認をしっかりとし、障害物に目印となるカラーコーンを設置した。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.16

発生状況(何がどうした)

クレーンのブームを後方にしたまま荷台で作業をし、頭を上げた時、ブームで頭をぶつけた。

発生原因(なぜ)

ブームを後方にしていた。

再発防止対策(どうした)

ブームは、前方に必ず固定する。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.17

発生状況(何がどうした)

小型ダンプから荷物をおろしやすくしようとしてテールゲートははずそうとしたところ、ゲートが落下し足を直撃しそうになった。

発生原因(なぜ)

テールゲートの取付け部分が開きすぎて、ゆるんだ状態となっていた。

再発防止対策(どうした)

取付け部分の開き具合が適正になるよう修繕した。又、始業点検時に確認するようにした。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.18

発生状況(何がどうした)

荷下ろし時に、前方の視界が悪く、他の作業員と接触しそうになった。

発生原因(なぜ)

作業範囲内に他の作業員が立ち入った。産廃箱の位置が高かった。

再発防止対策(どうした)

作業ヤードの確保及びバック走行での走行経路の確保。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.19

発生状況(何がどうした)

廃棄物収集の為、車から降りる時、ドアを開けた瞬間、横を車が通りぬけた。

発生原因(なぜ)

作業を急ぐあまり、積荷だけに気を取られ、後方確認を怠った為。

再発防止対策(どうした)

作業に時間の余裕を持ち、周囲の確認をしてから乗降するようにする。出来れば指差呼称する。

【収集運搬】 ユニック作業 ヒヤリ・ハット No.20

発生状況(何がどうした)

ユニック作業時、産廃箱に気をとられ電線に接触しそうになった。

発生原因(なぜ)

作業開始前の周囲および上空架線の点検不足。

再発防止対策(どうした)

作業開始前の周囲及び上空架線の確認を行い、作業を開始する。

【収集運搬】 クレーン作業 ヒヤリ・ハット No.21

発生状況(何がどうした)

ブームを水平移動しようとした所、アウトリガーを完全に出すのを怠り、転倒する所だった。

発生原因(なぜ)

アウトリガーの指差呼称をしなかった。

再発防止対策(どうした)

作業員とオペレーターとの連携をとる。

【収集運搬】 クレーン作業 ヒヤリ・ハット No.22

発生状況(何がどうした)

リモコンを操作中に、上空の架線に気をとられ、後向きで横転した。

発生原因(なぜ)

後ろ向きで作業して段差に気づけなかった。

再発防止対策(どうした)

リモコン作動前に周囲を確認して、離れたところから作動させる。

【収集運搬】 クレーン作業 ヒヤリ・ハット No.23

発生状況(何がどうした)

荷下ろし中、リモコンのストラップがレバーに引っかかり急作動した。

発生原因(なぜ)

ベルトにかけていたストラップがレバーにひっかかった。

再発防止対策(どうした)

ストラップは、体につけて手で操作する。

【中間処理】 重機作業 ヒヤリ・ハット No.24

発生状況(何がどうした)

金属と木片、分別作業中ボルトと思われる物が飛び、全面ガラスが破損した。(ケガ人なし)

発生原因(なぜ)

全面には防金網があるにもかかわらず、隙間に入る小物(ボルト?)が飛んだ。

再発防止対策(どうした)

- ①全面防金網とアクリル板を取付け2重対策とした。
- ②作業中は、作業近くに他の作業員の出入りを禁止した。

【その他】 運転 ヒヤリ・ハット No.25

発生状況(何がどうした)

片道一車線の県道で前方を走っていた車が急にブレーキをかけ右折したので慌てて急ブレーキをかけた。又、自分の後ろの車も急ブレーキをかけ、玉突事故を起こすところであった。

発生原因(なぜ)

前の車両が右折に準備に入る前からウinkerをあげなかった事と自分のぼんやり運転と十分な車間距離をとっていなかった事。

再発防止対策(どうした)

十分な車間距離をとる事と、運転に集中するように心懸ける。

【その他】 運転 ヒヤリ・ハット No.26

発生状況(何がどうした)

フォークリフトを運転中、周りで作業していた作業員と接触しそうになった。

発生原因(なぜ)

オペレーターと作業員の安全確認不足。

再発防止対策(どうした)

作業毎に声かけし、周囲へ注意を払うよう取り決めを行った。

【その他】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.27

発生状況(何がどうした)

ソーラーパネルを倉庫へフォークリフトで収納する際に倉庫の壁とパネルに挟まれそうになった。

発生原因(なぜ)

オペレーターに指示者の姿が見えなかった。

再発防止対策(どうした)

フォークリフトは前方が見えにくいいため、オペレーターから見えやすい位置に配置し、支持を仰ぐようにする。

【その他】 金具取付け ヒヤリ・ハット No.28

発生状況(何がどうした)

降灰地で灰が瓦に積もりすべり易くなっており、転落しそうになった。

発生原因(なぜ)

降灰など、屋根がすべりやすいままに瓦に乗り作業を行った。

再発防止対策(どうした)

ブロアーなどで、屋根をきれいにして安全靴の滑らない靴で作業を行う。

【その他】 パネル取付け ヒヤリ・ハット No.29

発生状況(何がどうした)

強風時、パネルを持って移動するときに、パネルと一緒に体を持っていかれそうになった。

発生原因(なぜ)

設置を急ぐ余り、強風時の状況判断が甘かった。

再発防止対策(どうした)

作業監督者を置き、適切・柔軟な対応・判断を行うようにした。

【その他】 浄化槽清掃 ヒヤリ・ハット No.30

発生状況(何がどうした)

マンホールの蓋を開けて、少し離れた場所で作業中、通行人が浄化槽内に落ちそうになった。

発生原因(なぜ)

カラーコーンなどを活用し、落下防止措置を行った。

再発防止対策(どうした)

落下防止とカラーコーンなどを作業時には設置し、誘導員の配置も行うようにした。

【その他】 浄化槽点検 ヒヤリ・ハット No.31

発生状況(何がどうした)

停止中の設備機器の確認中、急に作動したため、指が巻き込まれそうになった。

発生原因(なぜ)

停止の状況の危機確認を行っており、電源を切らなかったため。

再発防止対策(どうした)

停止中であっても、確認時は必ず電源を切り、作業者間の確認を怠らない。

【その他】 ヒヤリ・ハット No.32

発生状況(何がどうした)

倉庫の中の片づけをしていたら、足裏に違和感を感じたので長靴を脱いで底を確認して見たら釘がささっていた。幸い怪我はなかった。

発生原因(なぜ)

倉庫の床の確認が足りなかった。

再発防止対策(どうした)

安全靴を使用して作業する。作業直前の安全確認は必要ですが日頃の倉庫内の整理・整頓、清掃と作業後の片付けを行う。

【その他】 ヒヤリ・ハット No.33

発生状況(何がどうした)

倉庫前を歩行中人とすれ違い、パレットに足が躓き資材段ボールへ倒れそうになりヒヤツとした。

発生原因(なぜ)

人とすれ違う時、足元の確認が足りなかった。

再発防止対策(どうした)

限られたスペースで人の離合がある場合は周囲の危険源を見て、すれ違う人を先に行かせるなどして安全を確保する。

“ハインリッヒの法則”

『1:29:300』という法則があります。『1つの重大災害の下には、29の軽傷事故があり、その下には300の無傷事故がある』という意味で、労働災害の事例の統計を分析した結果、導き出されたものです。

これをもとに『1件の重大災害(死亡・重傷)が発生する背景に、29件の軽傷事故と300件のヒヤリ・ハットがある』という警告として、安全活動の中で多く採り上げられる言葉です。

